

- 公教育の目的・目標
憲法 - 教育基本法 - 学校教育法
新学習指導要領 等
- 佐賀県教育施策実施計画
- 武雄市教育方針

《 本校の教育目標 》

- 自ら学びを求め人
- 心身ともに健康な人
- 志を持ちゆめ実現を目指す人

- ◆ 生徒の実態
- ◆ 地域の実態

- 保護者の願い
- 教職員の願い

《校訓》 「自立」「誠実」「忍耐」

目指す学校像

- あいさつでつながり、子どもたちの頑張りや希望を支援する学校
- 仲間と共に支え合い、安心して生活できる学校
- 教育課題に迅速に対応し、生徒の個に応じた支援と健全育成に取り組む学校
- 保護者・地域等の期待に応えるとともに、安心して生徒を任せられる学校
- 学校行事や会議の精選効率化に努め、教職員が健康的に日々の業務に従事できる学校

目指す生徒像

- 志をもち、夢に向かって、前進する生徒
- 目標に向かって、主体的に学ぼうとする意欲あふれる生徒
- たくましい気力と体力をもち、粘り強く困難に挑戦し成長する生徒
- 郷土を愛し誇りに思う生徒

目指す教師像

- 使命感にあふれ、常に学び続ける教師
- 分かる授業のために、互いに研鑽に励み、授業で勝負する教師
- 生徒一人一人の心を受け止め、夢の実現を支援する教師
- 豊かな人間性や社会性をもち、総合的な人間力のある教師
- 業務改善の意識を持ち続け、質の高い教育を持続的に実践していく教師

今年度の教育の重点と方策

- 1 自分で考え判断し、決定し自ら行動する資質・能力を育てる。
- 2 確かな学力の育成（臨時休業による授業の遅れの保障）
- 3 たくましく生き抜くための心身の健康と体力増進
- 4 教職員が安心して、やる気を持って職務遂行できる環境づくり

学びの指導

- 1 豊かな学びへの授業改善
 - ・ 学習規律の定着と生徒理解
 - ・ 「めあて、流れ、振り返り、まとめ」の授業の見える化
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の協働的問題解決型の授業実践
 - ・ 自分の考えを持ち安易に妥協せず議論する授業
- 2 学習環境
 - ・ 補充学習の確保（長期休業の活用）
 - ・ 認め、高めあう学習集団作り
 - ・ 学習規律の徹底
 - ・ ICT利活用教育の推進
 - ・ 継続的な校内研修の充実
- 3 家庭学習
 - ・ 意欲を高める宿題の工夫
 - ・ 「810」習慣の徹底

生徒指導

- 1 学級経営
 - ・ 決定・存在・共感のある温かみのある集団作り
 - ・ 心の居場所となり、自己有用感のある学級経営
 - ・ 保護者の信頼が得られるように日常的な連絡連携の重視
- 2 不登校対策
 - ・ 不登校をつくらないための早期発見・早期対応による未然防止
 - ・ 復帰をめざす居場所作り
 - ・ 相談体制の充実
 - ・ 関係機関とのきめ細かな連携と行動
- 3 道徳教育
 - ・ 考え議論する教科「道徳」の指導力向上
 - ・ 理解した道徳的価値の実践の賞賛
 - ・ 習得した道徳的実践力の習慣化の見守り

教育全般

- 1 特別活動
 - ・ 夢プロジェクトの推進
 - ・ 地域貢献を中心に、主体性を重んじ、果敢にチャレンジを支援する
 - ・ 自問掃除自問ノートによる心づくり
 - ・ 食育での体づくり
 - ・ 部活動で体力づくり
 - ・ 自治力の強化
- 2 特別支援教育の充実
 - ・ 障害のある生徒の支援
 - ・ コーディネーターや支援員が活躍できる支援体制
- 3 家庭・地域との連携
 - ・ 地域と共に子どもを育てる視点の充実
 - ・ 学校便り、学級便り、懇談会、家庭訪問、お知らせメール等の充実
 - ・ 保育園こども園、各小学校、関係機関との連携の推進

働き方改革

- 1 「本当に子どものために必要か」という視点からチームで業務を検討する。
 - ・ 業務の適正化・計画の機能性の観点からの教育課程の見直し
 - ・ 役割分担を検討し効率的にチームでの業務推進
 - ・ 人事評価制度の活用
 - ・ 学校運営協議会の活用
- 2 勤務時間外の縮減
 - ・ 時間外勤務月45時間以内の励行
 - ・ 業務と自己研鑽、業務外の明確化
 - ・ 定時退勤日の確実な実施
 - ・ 有給休暇の計画的な取得
 - ・ 土日の部活動の適正化
 - ・ あいさつから始まり職員同士が声かけ合う職員室

基盤1

教職員一人一人が自分を語り、人と人との信頼関係を根幹とした教育活動

基盤2

武北キャッチフレーズ
「挑戦」「前進」「変化」を生徒も教職員も自分へ問いかけ、活気ある学校生活を送る